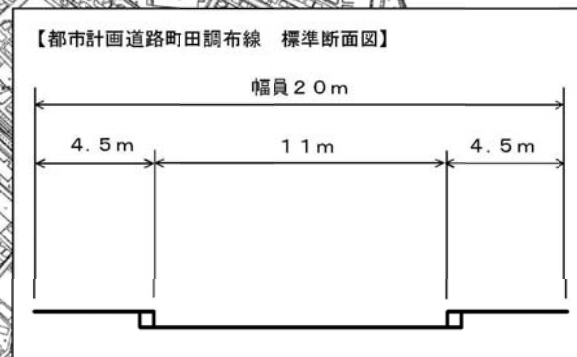
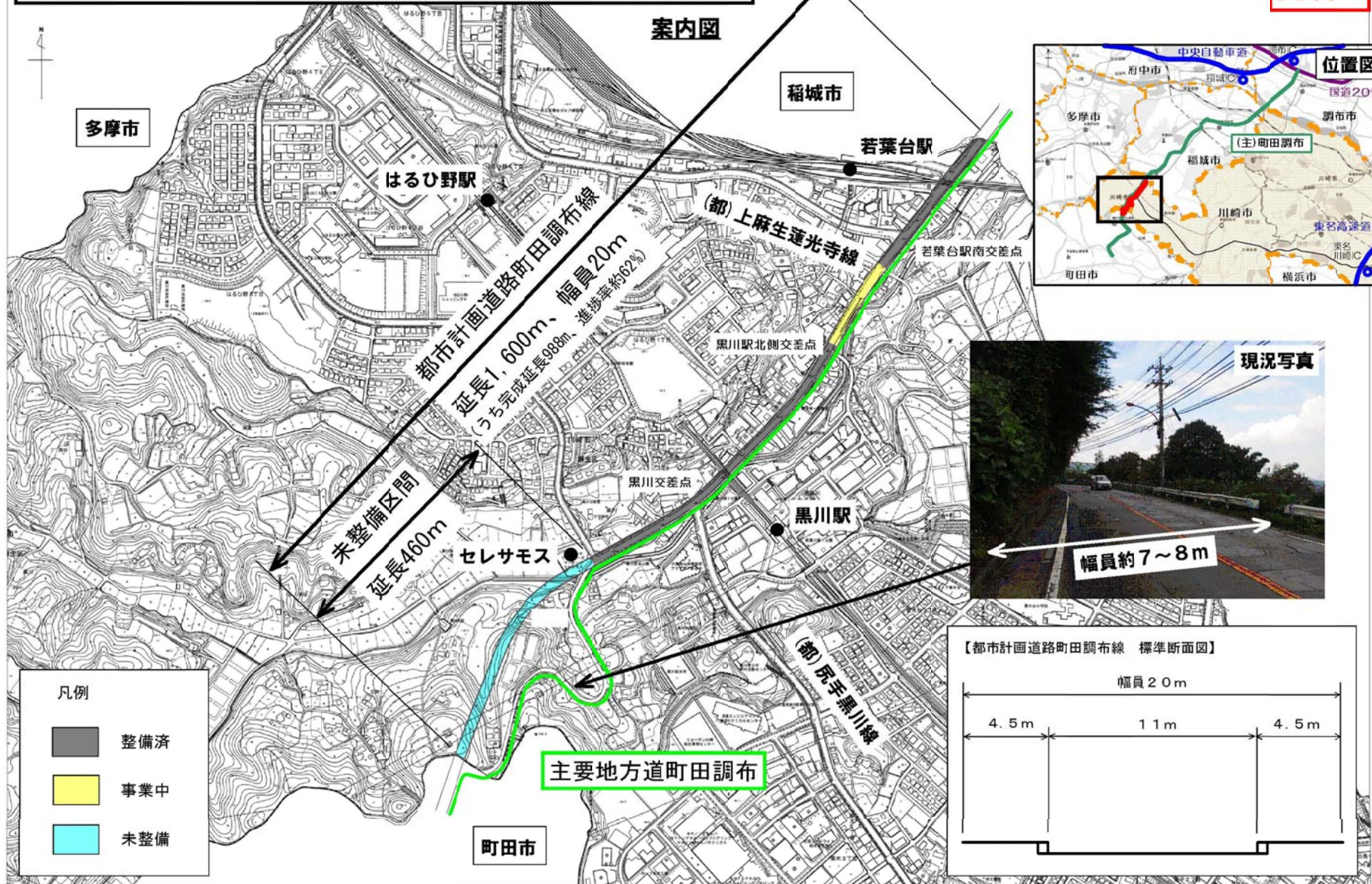


請願第51号 主要地方道「町田調布」の拡幅整備促進に関する請願

資料 1

案内図



- 凡例
- 整備済
  - 事業中
  - 未整備

主要地方道町田調布

0 50 100 200 300 400 500m



# 道路整備プログラムの見直し概要

資料2

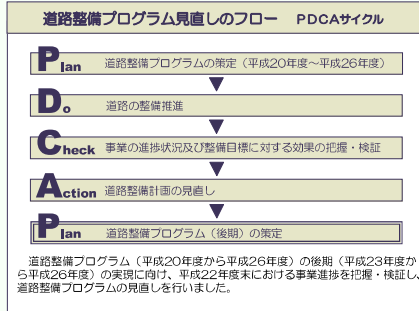
## 1 はじめに

現在、川崎市における道路整備は、新総合計画「川崎再生フロンティアプラン」における交通体系整備の方向性である「再生・活力」「安全・安心」「環境」の3つの基本的視点を踏まえながら、客観的な指標などを用いて整備効果の高い箇所を選定することで整備箇所の重点化を図るとともに、整備路線やその決定方法、整備効果などを公表することにより、計画や目標を市民と行政が共有し、円滑で効率的・効果的な道路整備を推進することを目的とした「川崎市の道路整備プログラム」（平成20年3月策定）に基づき取り組んでいます。

本プログラムは、平成20年度から26年度までの7年間にわたる都市計画道路等の幹線道路の整備計画をとりまとめたものですが、新総合計画「川崎再生フロンティアプラン」の実行計画との連携を図り、社会経済環境の変化に的確に対応するため、右図のPDCAサイクルにより、3年間程度で見直すこととしています。

今回、第2期実行計画期間にあたる前期3カ年（平成20年度から平成22年度）が終了したことから、事業進捗状況や整備目標に対する効果の把握・検証を行い、平成23年度からの後期4カ年（平成23年度から平成26年度）を対象として、本プログラムの見直しを行いました。

今後も引き続き、本プログラムを通じ、より適正なまちづくりの誘導や促進を図るとともに、計画やその達成度を市民の方々と共有しながら、円滑で着実な道路整備を進め、まちづくりの基本目標である『誰もがいきいきと心豊かに暮らせる持続可能な市民都市かわさき』の実現に向け、取り組んでまいります。



## 2 前期3カ年【H20～H22】の進捗状況

### ①道路整備の進捗状況

道路整備プログラムに位置付けた整備対象箇所51工区に対しまして、平成22年度末時点における前期3カ年の事業進捗は、7工区に着手し、12工区が完成しました。

	計 画 (H20策定時)	実 行 (H22末時点)
着手	9工区	7工区
完成	20工区	12工区
継続	17工区	25工区

### ②整備目標に対する達成状況

平成26年度の目標値に対する平成21年度末の中間値を目安として設定し、実績値と比較した結果、成果指標10項目中7項目について、概ね目標を達成しました。

## 3 道路整備プログラム後期の対象事業・期間

### ①対象事業

川崎市が管理する都市計画道路と一般国道、県道及び市道のうち主要地方道に指定された幹線道路に関わる道路整備を対象としています。

ただし、都市計画道路のうち区画街路及び特殊街路は対象路線から除くとともに、土地区画整理事業や市街地再開発事業による道路整備や連続立体交差事業は評価対象から除きます。

### ②対象期間

目標年次は、新総合計画「川崎再生フロンティアプラン」の目標年次である平成26年度とし、平成20年度から平成26年度までの7年間で対象期間としています。

## 4 道路整備プログラムの基本的な考え方

### ① 指標に基づく計画づくり

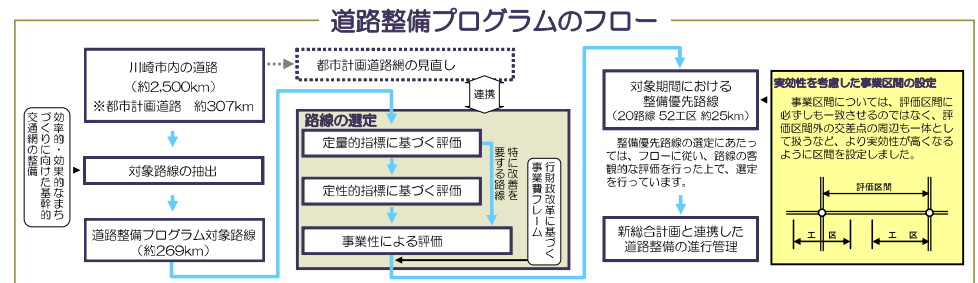
効率的・効果的な道路整備を推進するため、新総合計画における「交通体系整備」に基づき、「再生・活力」、「安全・安心」、「環境」の3つの基本的な視点に則して指標を設定し、総合評価により整備路線を決定しました。また、客観的な指標である「渋滞」と「事故」については、特に改善を要する箇所について優先的に整備を進めることとしました。

### ② 実効性の高い計画づくり

整備路線の最終決定においては、都市計画道路の見直し状況や関連事業との連携、継続性や事業実施による地域への影響など「事業性の担保」も考慮し、可能な限り実効性の高い計画となるよう配慮しました。

### ③ 目標が共有できる計画づくり

3つの基本的な視点については、各々に計画期間内の目標を極力具体的に設定するとともに、新総合計画と連携した進捗管理を導入することにより、計画やその達成度を市民と行政が共有できるように配慮しました。



### 後期4カ年【H23～H26】の道路整備

## 1 後期は19工区が完成、9工区に新規着手

PDC Aサイクルによる前期3カ年の事業進捗状況や、整備目標に対する効果の把握・検証を行った結果、道路整備の方向性・整備箇所などは継承し、整備時期の見直しを行いました。

計画策定当初には15工区の完成を予定しておりましたが、19工区の完成を見込んでおります。また、着手につきましても、6工区から9工区としました。

事業実施においては、昨今の厳しい社会情勢の中、有効な交付金制度の活用や効率的な事業執行体制を活かしながら、最大限の効果発現が可能となるように各工区における事業費配分などを考慮して、効果的な道路整備の実現に向けて取り組んでまいります。

※土地区画整理事業や市街地再開発事業による道路整備や連続立体交差事業は除く。

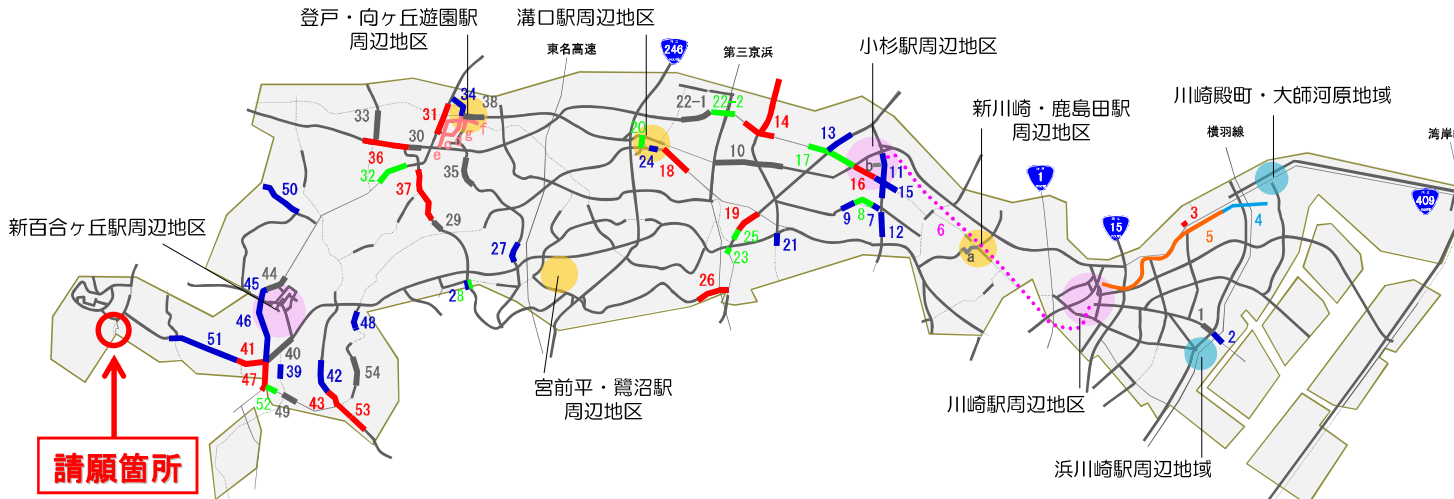
## 2 整備対象路線

原則として、当初計画において後期に対象となっていた路線と、前期期間に着手及び完成しなかった路線としています。

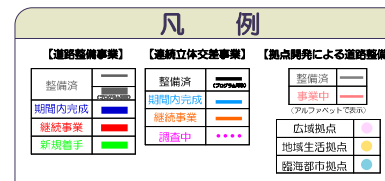
## 3 道路整備の方向性

拠点地区における駅周辺などの適切な交通誘導や、混雑している市北部の交通の円滑化など、計画策定当初の道路整備の方向性を継承して、引き続き、目標達成に向け取り組んでまいります。

- ①整備箇所の重点化  
H19末現在38箇所 ⇒ 30箇所/後期各年平均
- ②拠点開発を支援する幹線道路の整備  
小杉・溝口・登戸・新百合ヶ丘駅周辺の幹線道路 ⇒ 後期間間で概ね完成
- ③比較的遅れている市北部幹線道路網の構築  
市北部進捗率（多摩区・麻生区）47% ⇒ 58%  
※平成21年度末時点 51%



※上図の整備計画は、社会経済環境や事業の進捗状況等により、変更となる可能性があります。



### 整備箇所一覧

No	路線名	工区名	後期(H23～H26)	
			当初計画策定時	現計画
1	(都) 川崎駅前線	浜町	(前期完成)	(前期完成)
2	(県) 層町川崎停車場	南渡田	—	完成
3	(都) 大師駅前線	—	継続	継続
4	京急大師線立体交差事業	東門前駅～小島新田駅	—	完成
5	京急大師線立体交差事業	京急川崎駅～東門前駅	継続	継続
6	JR南武線連続立体交差事業	尻手駅～武蔵小杉駅	調査中	調査中
a	(都) 古市場矢上線	鹿島田駅西部地区第一種市街地再開発事業	完成	完成
7	(都) 荻宿小田中線	Ⅲ期	完成	完成
8	(都) 荻宿小田中線	Ⅱ期	継続	着手
9	(都) 荻宿小田中線	Ⅰ期	—	完成
10	(都) 小杉菅線	中原	(前期完成)	(前期完成)
11	(都) 東京丸子横浜線	市ノ坪	完成	完成
12	(都) 東京丸子横浜線	木月	完成	完成
13	(都) 丸子中山茅ヶ崎線	小杉御殿町	完成	完成
14	(都) 宮内新横浜線	宮内	継続	継続
15	国道409号	市ノ坪	継続	完成
16	国道409号	小杉	継続	継続
17	国道409号	小杉御殿町	着手	着手
b	(都) 武蔵小杉駅南口線	武蔵小杉駅前グランド地区開発事業	(前期完成)	(前期完成)
18	(都) 野川柿生線	久本	完成	継続
19	(都) 丸子中山茅ヶ崎線	鎌山坂	完成	継続
20	(都) 溝ノ口線	全線	着手	着手
21	(都) 宮内新横浜線	子母口	—	完成
22-1	国道409号	二子	(前期完成)	(前期完成)
22-2	国道409号	北見方	—	着手
23	(主) 丸子中山茅ヶ崎線	野川(高津区)	着手	着手
24	溝口駅南口駅前広場	—	完成	完成
25	(都) 丸子中山茅ヶ崎線	野川(宮前区)	着手	着手
26	市道宮前6号線	野川	完成	継続
27	(都) 向ヶ丘遊園駅管生線	白井坂	—	完成
28	(主) 横浜生田	水沢	完成	着手・完成
29	(主) 横浜生田	菅生	(前期完成)	(前期完成)
30	(都) 鹿島田管線	多摩	(前期完成)	(前期完成)
31	(都) 世田谷町線	登戸	完成	継続
32	(都) 世田谷町線	生田	着手	着手
33	(都) 中野島生田線	Ⅱ期	(前期完成)	(前期完成)
34	(都) 登戸2号線	多摩谷線	—	完成
35	(都) 向ヶ丘遊園駅管生線	東生田	(前期完成)	(前期完成)
36	(主) 川崎府中	榊形・生田	継続	継続
37	(主) 横浜生田	東三田	継続	継続
38	市道小杉菅線	登戸駅前	(前期完成)	(前期完成)
c	(都) 登戸1号線	登戸土地区画整理事業	継続	継続
d	(都) 登戸2号線	登戸土地区画整理事業	継続	継続
e	(都) 登戸3号線	登戸土地区画整理事業	継続	継続
f	(都) 登戸野川線	登戸土地区画整理事業	継続	継続
g	(都) 登戸駅線	登戸土地区画整理事業	継続	継続
39	(都) 柿生町田線	柿生駅南口	完成	完成
40	(都) 尻手黒川線	Ⅲ期	(前期完成)	(前期完成)
41	(都) 尻手黒川線	Ⅳ期	継続	継続
42	(都) 菅早野線	白山	—	完成
43	(都) 菅早野線	下麻生	継続	継続
44	(主) 世田谷町線	高石	(前期完成)	(前期完成)
45	(都) 世田谷町線	万福寺	完成	完成
46	(都) 世田谷町線	片平	完成	完成
47	(都) 世田谷町線	上麻生	継続	継続
48	(都) 野川柿生線	王禅寺	完成	完成
49	(主) 横浜上麻生	新三輪橋交差点	(前期完成)	(前期完成)
50	(県) 稲城読売ランド前停車場	細山	—	完成
51	(県) 上麻生蓮光寺	片平	—	完成
52	(主) 横浜上麻生	柿生陸橋	着手	着手
53	(主) 横浜上麻生	下麻生	継続	継続
54	市道麻生6号線	王禅寺	(前期完成)	(前期完成)

※1 路線名は事業種別を表します。(都)〇〇線は「市道事業」、国道〇〇号・(主)〇〇・(県)〇〇・市道〇〇線は「道路事業」に該当します。  
※2 土地区画整理事業や市街地再開発事業による道路整備や連続立体交差事業は除く。